

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	S.I.	学部・学科	国際教養学部
学 年	4 年	派遣国	タイ
派遣大学	タマサート大学		
期 間	2023 年 8 月 15 日～ 2023 年 12 月 23 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	アパート					
部屋	個室					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	○	冷暖房	○	冷蔵庫	○
滞在費	約 (34000) 円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (30) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	21000 円	朝 100 円 昼 300 円 夜 300 円
学用品購入費	1000 円	ノート、本
交通費	3000 円	バス、電車
交際費	3000 円	
その他	円	

合計

30000 円

*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

日本と比べると治安は少し悪くなるが、夜遅くならなければ基本的には女性でも一人で行動できる。野犬には注意する必要がある、特に都市の外れの方では野犬に追いかけることがあるため狂犬病ワクチンの接種をお勧めする。

カオサン通りなど観光地では盗難の被害も聞いているため注意が必要である。また、大麻の個人使用が現状認められているため店の近辺には近寄らない方が安全である。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学		
加入期間	(6) ヶ月間	保険料	(60580) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

<p>滞在都市／町 (バンコク)</p> <p>タイの首都。</p> <p>年間の平均気温は約 30 度であり、季節は雨季、乾季、暑季に分かれる。</p> <p>王宮、ワット・ポー、ワット・アルンなど巨大な仏教の寺や施設が林立しており観光場所としても魅力がある。近年はショッピングモールなど商業施設の開発が進んでおり、高価なブランドがいくつも出店している。周辺には、古代都市のアユタヤやビーチで有名なパタヤがあり観光客は年中訪れている。</p>

【学業編】

1. 大学情報

大学	タマサート大学	所在地	バンコク、プラカノン
最寄空港	スワンナプーム国際空港	空港からの距離	40 km
空港⇄大学	(エアポートバス、タクシー) *移動手段		
学生数	39000 人	留学生数	情報なし
学部	Accounting Liberal arts Business Economics Engineering Law Nursing Science Political Science Science *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	Liberal Arts/ South East Asian Studies *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (8)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	授業	図書館	図書館	授業	授業
午後	図書館	授業	授業	バドミントン	図書館

② ()月～()月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前					
午後					

3. 履修内容

科目	THAI AS A FOREIGN LANGUAGE 1		
履修期間	8 月～12 月	単位数	3.0
授業内容／形態	タイ語の初心者クラスの授業。 語学の授業のためペアワークなど実践的な内容もある。 評価方法は中間と期末のテスト。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	アジア諸言語Ⅰ（タイ語）	
	単位数	2	
	担当教員	柿崎一郎	

科目	MARKETING AND CORPORATE SOCIAL BUSINESS RESPONSIBILITIES IN SOUTHEAST ASIA		
履修期間	8 月～12 月	単位数	3.0
授業内容／形態	マーケティングと CSR の基礎的な授業。 学期の半ばに海外へのフィールドワークがある。 評価方法は中間テスト、期末テスト、プレゼンテーション、レポート。		
成績	B		
YCU 振替予定	科目	留学科目	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	MAIN CITIES AND URBANIZATION IN SOUTHEAST ASIA		
履修期間	8 月～12 月	単位数	3.0
授業内容／形態	東南アジアの都市課題についての授業。 前半は理論の解説で後半から事例の説明。 評価方法は、小テスト、期末テスト、プレゼンテーション、レポート。		
成績	C +		
YCU 振替予定	科目	留学科目	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	GENDER AND SEXUALITY IN SOUTHEAST ASIA		
履修期間	8 月～12 月	単位数	3.0
授業内容／形態	東南アジアのジェンダー問題についての授業。 授業の前半は講義形式で後半はディスカッション。 評価方法は 4 回のレポート。		
成績	D		
YCU 振替予定	科目	ジェンダー論	
	単位数	2	
	担当教員	横山道史	

科目	SEMINAR ON POLITICAL ISSUES IN SOUTHEAST ASIA		
履修期間	8 月～12 月	単位数	3.0
授業内容／形態	東南アジアの政治についての授業。 主に ASEAN の歴史、取り組みについて学んだ。 評価方法は中間レポートと期末テスト、レポート、プレゼンテーション。		
成績	B +		
YCU 振替予定	科目	留学科目	
	単位数	2	
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

留学生生活全体を通して、第一に講義を通してタイ及び東南アジアへの解像度が上がった。留学に行く前はそれぞれの国を東南アジアというイメージでしか捉えられていなかったが、留学先で東南アジアの政治や都市、ジェンダーに関する講義を受けて各国の文化や抱える問題を知り、それぞれを個別の国として捉えられるようになった。学びとしては基礎的なことだったかもしれないが、実際に現地で学ぶことで諸問題をより身近に感じることができしっかり知識として定着させることができたように思う。

第二に、東南アジアにおける日本の影響力の大きさを深く感じた。タイで生活する中で現地の学生や他のアジア圏の交換留学生と接する機会が多くあったが、どの人も日本のアニメや食文化、商品を通して日本に好意的な印象を持っていた。自国の文化が海外まで届いていることを嬉しく思う一方、自分が相手の文化に対して相手ほど興味を持てていないことに申し訳なく思うことが何度かあった。相手から褒めてもらってばかりだとどこかで傲慢になってしまうのではないかという不安も感じていた。留学を通してタイや東南アジアへの理解は深まったものの、まだまだ不十分だと感じている。今後は好意的な評価は素直に受け取りつつ、思い上がることがないように学ぶことや異文化の理解も止めることがないようにしたい。

第三に、単身で海外に長期滞在する大変さが学べた。日本からの距離や物価、日本人の滞在人数の点からタイは比較的他国に比べて住みやすいと思うが、それでも歩道で頻繁にごみが散乱していたり、水道水が飲めなかったりなど日本との生活環境の差を感じた。また、ホームシックにはならなかったが時折日本のものが恋しくなることはあったので、半年以上でより住みにくい国への滞在となると生活は厳しいものになると感じた。

最後に、留学前の一番の目標であった語学力の向上については、飛躍的に向上はしなかったがスピーキングやライティングのアウトプットが留学前より抵抗なくできるようになったと感じている。特に、スピーキングについては日々友人たちと話すなかで普段自分では使わない単語や言い回しを聞くことができ、会話をすることが一番の勉強となった。レポートの課題も定期的にあったことでライティングの経験も継続的に積むことができた。

英語圏の大学を元々志望していたため留学が実りのあるものになるか当初は不安だったが、結果的に想像していなかった新しい学びがあり、多国籍の友人ができて、英語の能力も一段階上達できたと感じているので、とても満足のいく留学となった。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

今後の展望としては、留学生活で培った語学力や東南アジア関連の知識、異文化への興味を活かせるような仕事に就きたいと考えている。海外勤務できることが理想であるが、仮に国内で働くことになったとしても日本に来る外国人を支援できるような立ち位置で働きたいと考えている。また、残り一年間で卒業論文も執筆することになるため、英語の能力をこのまま維持し向上させることでゼミの要件である英語での卒業論文の執筆をこなせるようにしたい。

より長い視点で考えると、海外に目を向けることの良さを広めていきたいと考えている。日本人は他国と比べてパスポートの取得率が低いと以前ニュースで見たことがある。海外に行ってももちろん苦労すること多いが、他の国に自分とは全く異なる文化や言語で生きている人々がいることを直接体験することは誰にとっても得難い体験になると思っている。それを実際に体験した自分が広めることでたくさんの人に海外へ出ることに興味を持ってもらいたい。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

留学するには、書類の準備やお金、語学試験の勉強など乗り越えなければならないハードルがいくつもあるが、この先の人生において長期間海外で生活する機会は仕事でもない限りない人がほとんどだろう。また、同年代の他国の友人ができる数少ないチャンスでもある。なので、もし時間とお金さえ許せるならぜひ学生のうちに行っておくべきだ。

具体的な準備の方法については、金銭面に関しては安く済ませるならやはり交換留学の制度を利用するのが良いだろう。勉学の面でも、大学の講義を実際に受けられるので専門的に学びたい人にとっては有益である。語学試験に関しては、入学後から継続的に勉強をしていれば 2 年生か 3 年生になるまでには試験の合格基準に十分達することができる。留学場所はそれぞれの希望によって異なると思うが、金銭面を考えるとやはりアジア圏の方が、物価が安く生活難易度は低いと思われる。ヨーロッパやアメリカとなると物価の面でも移動費の面でもどうしても高くなってしまう。